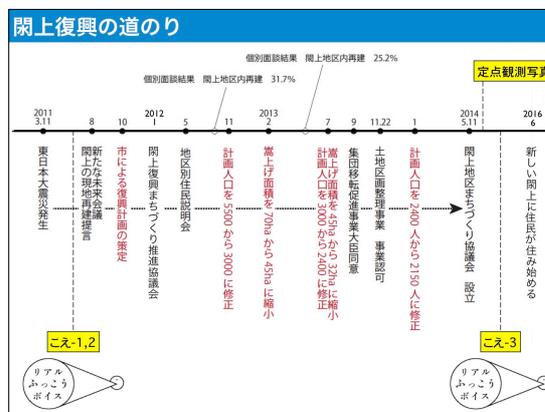


リアルふっこうボイス 記録利活用レポート

2017年8月 まちづくり部・豊嶋

□概要

山形大学人文社会科学部地域社会論の1コマ「テーマ：復興支援」において、特定非営利活動法人都市デザインワークスが担う閑上地区まちづくり協議会事務局の取り組みについて講義する際に、閑上復興のプロセスにおける現場の状況を説明するため、リアルふっこうボイスの音声と写真を使用した。



日 時：2017年6月14日(水)14:40～16:10

会 場：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館

受講生数：216名（約8割が2年生※2011年の頃は中学生、その他1～4年生）

※参考 山形大学学生の出身県ごとの割合（一学年:約300名）

| | 2年生 | 3年生 | 4年生 |
|-----|---------|---------|---------|
| 山形県 | 31.55 % | 28.57 % | 35.50 % |
| 宮城県 | 36.59 % | 39.61 % | 35.18 % |
| その他 | 31.86 % | 31.82 % | 29.32 % |

「地域社会論」の概要

担当教員：安田 均（経済学原理論）

授業概要：毎回異なる外部講師を招き、現場の人から見た現状と課題を語ってもらうことによって、地域社会がどのような課題を抱えているか、またそれに対しどのような取り組みが成されているかを理解し、説明できるようになる。

□使用方法

声を聞く 「名取のこえ」の音声のうち、震災から間もない頃の音声を2つと、大規模な工事が始まった頃の音声を1つ使用した。

1. b-1「漁師とは」60代男性・漁業・閉上6、2011年7月16日収録（16秒）
 “漁師だから、んだから、どゆまで何より、海さ近いとこさ住みたいんだっ
 ちゃね。”
2. a-2「安全とは」40代男性・会社員・閉上5、2011年7月16日収録（1分3秒）
 “100%ほんとに安全なのか。なにを言いたいかっていうと、みんな閉上に戻りたいのまず。その気持ち一緒なんです。ただし！ほんとに100%安心安全なのか。100%じゃあねえ、わたしだって納得いかないですよ。120%130%、200%くらい安心安全の対策をうってくれないと、元に戻れない訳ですよ。マスコミでね、そういうことされるのはいんだけど、ほんとにそれがね、一回検証してみてくださいって話ですよ。じゃないと、我々は、ほんとに何を基準に、それが安心安全だというレベルにするかなんですよ。ものさしにするかっていうこと。”
3. c-4「今のまちづくり①」70代男性・無職・閉上2、2015年8月23日収録（47秒）
 “ええこの頃土盛り始まってですね、昔のま、前はほら、あー、言わなくても閉上の街の面影があったわけですよ。土盛られるまではね。一軒一軒の屋敷の後もあったし。でもこの頃土盛られましたんでね。そうすると私らが育ったこの面影が無くなっていくわけ。それがちょっとさみしいなあという気はしますよね。まあ復興は嬉しいんですよ。復興は嬉しいんだけど、私達が育ってきた町が、土の中に埋まっていくっていうか。偶々私の家の跡なんかは土が盛られてますんでね。だからそういう一抹の寂しさとかちゆうもんは感じますね。復興は嬉しいんですけど。”

| | | |
|---|---|---|
| <p>収録 2011年7月16日 <small>名取市では震災直後、復興期が経過する中、住民、事業者、復興関係者、関係機関で構成する「復興まちづくり委員会」が中心となり、被災地まで行く回を企画している。収録の日、被災地の復興を促す、閉上地区の土盛り開始に関する復興委員会の開かれた。</small></p> <p>「まちづくり」は思いをつくること <small>2011年7月16日</small></p> <p>被災地での復興の思い 漁師だから、だから、良い街より何より、海の近く に住みたいんだっちゃん。 <small>被災地では被災地復興の思い</small></p> <p>被災地の復興の思い <small>被災地では被災地復興の思い</small></p> <p>60代 男性 漁師</p> <p>閉上6</p> <p>3分~11分5秒 <small>おぼろげなためにセンター</small></p> | <p>【日時】 2011年7月16日 【3.11から】 4ヶ月と5日後 【話し手】 40代男性会社員、閉上5 50代男性自営業、閉上7</p> <p>【場所】 美田園第1仮設住宅団地</p> <p>リアル ふっくら ボイス</p> <p>3分~11分5秒 <small>おぼろげなためにセンター</small></p> | <p>【日時】 2015年8月23日 【3.11から】 4年と5ヶ月と12日後 【話し手】 70代男性、無職</p> <p>【場所】 閉上の記憶</p> <p>リアル ふっくら ボイス</p> <p>3分~11分5秒 <small>おぼろげなためにセンター</small></p> |
|---|---|---|

パソコンのスピーカーから出る音声をマイクで拡張して再生。音声再生中にスライド投影。

観て測る

津波被害経験者が受講生の中にある可能性を鑑みて震災当時の写真は使用せず、工事進捗を確認できる定点観測写真を使用した。

1. 2014年8月5日撮影



2. 2016年3月5日撮影



□受講生の感想から

- 私の地元も震災で大きな被害を受けたので、復興というテーマはとても身近に感じられた。復興は破壊であるというインタビューの声に、私自身も共感できる部分があるので、復興に対しての複雑な思いを推しはかることはできる。
- 小学生の頃、学年で地引き網を閉上でした思い出がある。それ以来行ってないが、被害があったことは私も悲しかった。震災後のインタビューは聞いていてしんどかった。
- 宮城県出身で、閉上にも震災後に行ったことがあったので、身近に考えることができました。「復興」と「まちづくり」を同一のものとして考えたことがなかったので、それら2つ平行して行っていくというのは驚きでした。
- 私は福島出身で、将来就きたい職業的にも震災復興はとても他人事ではなく、一から街並みをつくっていくことへの多大な苦勞を感じました。震災をネガティブに捉えず、新しい街を作りなおすというポジティブ思考が大切だと感じました。

□考察

震災当時の情報が錯綜していた状況や、目に見えて進むハード整備の意思決定の前後に生まれる様々な住民意見が作り出すジレンマを伝えることができた。まだ復興途上であるという認識が強いためか、復興事業の真理を問うことにはならなかった。

本授業は、学生の希望を踏まえ毎年少しずつテーマを入れ替える形式をとっており、今年になり「復興支援」が新しく追加された。同大学のほかの教員に話を聞いてみると、ここ数年の学生は震災に対する関心が高まっているという。感想からも、被災地との物理的距離感は様々だが、復興に対する関心の高さが伺えた。

「復興」と「まちづくり」を分けて捉えている感想が多かった。震災前からのまちづくりの取り組みがある地域とそうでない地域があるので、両者を切り分けることで伝えられることがあるのかもしれない。

以上

- ・ これからの社会課題の先進地である東北で活かすことができると良い。
- ・ 参加しない(できない)住民のためにも協議会は立場の違う住民同士で議論をする。
- ・ 閉上地区まちづくり協議会には仙台高専の学生さんが毎回参加していたり神戸学生の支援プログラムの受入を行っている。
- ・ 関心のあるテーマでいくつかの被災地を訪れていただきたい。現地の人との交流を。
- ・ 言葉と音声聞き取りづらく申し訳ない。
- ・ Q.今日聞かせていただいた被災者の方の声はパソコンから聞けますか？
- ・ リアルふっこうボイスの音声は以下のURLから聞くことができます。
- 同じ町・地区であっても住んでいた所・職業などによる意見の相違があり、(復興まちづくりは)難しい問題だと思った。
- 復興することに対して、元の町にそっくりそのまま戻るわけでもないので、複雑な気持ちを抱くのも理解できるなと感じました。
- 復興で前よりも発展させようという発想になるところがたくましいと感じたが、それを以前の生活の「破壊」と考えてしまう人もいると知った。どう折り合いをつけていくのだろうか。
- もっと世間に閉上など被災地の復興状況を発信してほしいです。
- 安心安全だといえるまちが完成するにはまだ時間がかかりそうだと感じた。しかし時間がたてばたつほど、元の住民は戻りにくくなるだろうし、戻る意欲をなくしてしまう。
- 私は、震災後に初めて閉上朝市に行き、活気のある閉上の人々に感動した。周りは家や建物がほとんどなく、その景色の寂しさとのギャップがあったことを思い出した。
- 震災発生直後に中学校で閉上地区の復興について講演を聞いたのを思い出した。それから長い時間が経過したように感じていたが、やるべきことはまだまだ山積みであることを実感した。
- 住民とコミュニケーションを取る上で特に気をつけている事は何ですか？
- 住民の方がまちづくりに関心をもっていただけるように、どのような働きかけをされているのでしょうか？
- 私は名取市出身で、さらに祖父の家が閉上にあつたため、とても興味深い内容でした。祖父の家は津波に流されてしまい、家の周りの建物もすべてなくなってしまいとても悲しかったです。閉上地区の復興は、意見対立などであまり進まず難しいと思いました。
- まちづくりについて大学で勉強している者です。閉上のまちづくりに関するボランティア活動などはありますか？大学生でもできるものがあれば教えていただきたいです。